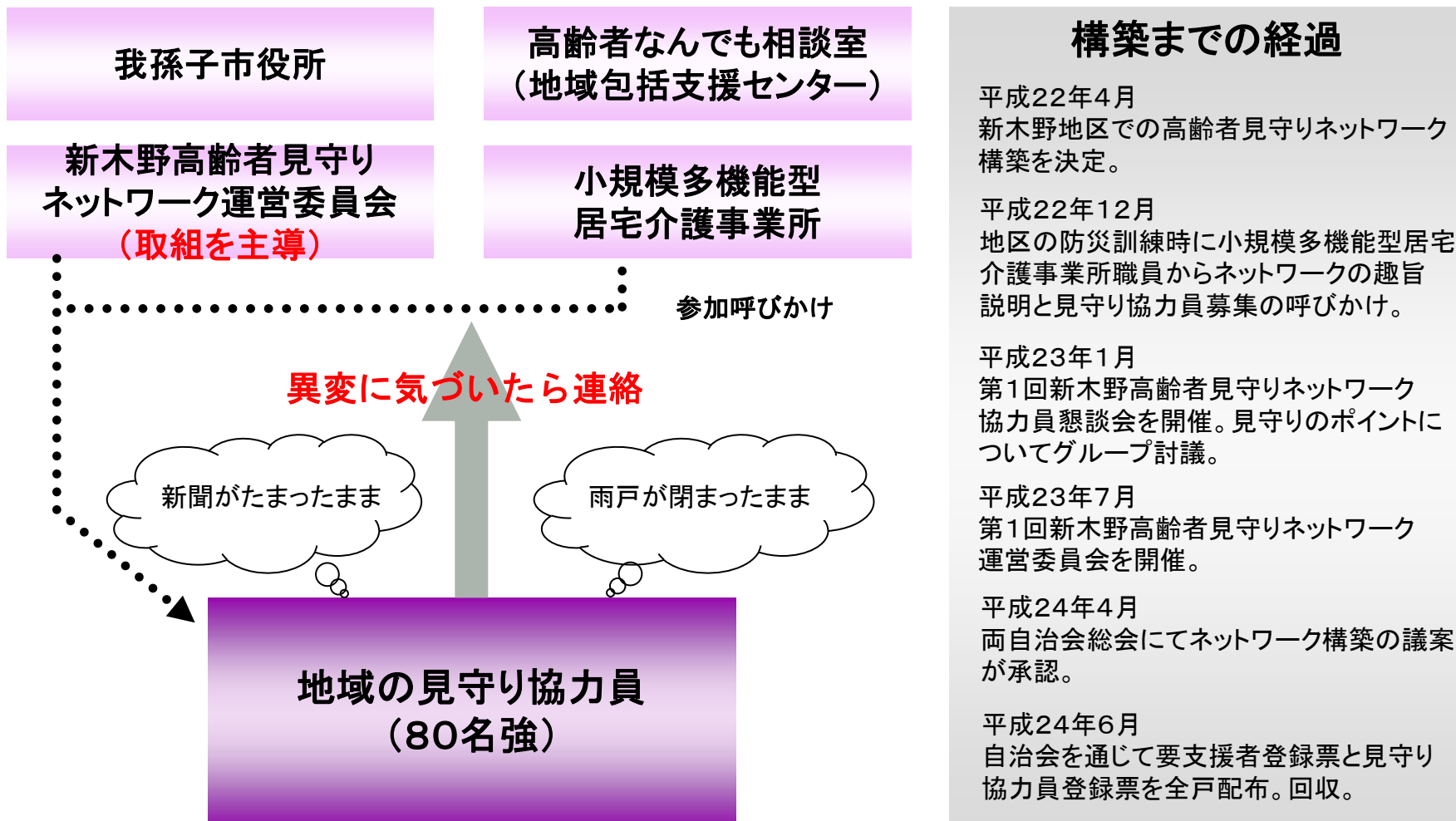


新木野地区での高齢者見守りネットワークの構築(千葉県我孫子市)

- 新木野地区(新木団地自治会、あらき野自治会の地区)をモデル地区として高齢者見守りネットワークを構築
- 80名強の地域の見守り協力員が独居高齢者等見守り対象者の異変等に気付いた場合、関係機関に速やかに連絡



構築までの経過

- 平成22年4月
新木野地区での高齢者見守りネットワーク構築を決定。
- 平成22年12月
地区の防災訓練時に小規模多機能型居宅介護事業所職員からネットワークの趣旨説明と見守り協力員募集の呼びかけ。
- 平成23年1月
第1回新木野高齢者見守りネットワーク協力員懇談会を開催。見守りのポイントについてグループ討議。
- 平成23年7月
第1回新木野高齢者見守りネットワーク運営委員会を開催。
- 平成24年4月
両自治会総会にてネットワーク構築の議案が承認。
- 平成24年6月
自治会を通じて要支援者登録票と見守り協力員登録票を全戸配布。回収。

※平成24年9月⇒活動スタート

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例

①市区町村名	我孫子市
②人口（※１）	133,923人（H25.4.1現在）（3,765人）
③高齢化率（※１） （65歳以上、75歳以上それぞれ について記載）	65歳以上 25.5%（65歳 35.1%） 75歳以上 10.6%（H25.4.1現在）（75歳 18.6%）
④取組の概要	我孫子市の新木野地区（新木団地自治会、新木野自治会の地区）をモデル地区として、高齢者見守りネットワークの構築を図った。80名強の地域の見守り協力が独居高齢者等見守り対象者の異変等に気付いた場合、関係機関に連絡する体制が整備されている。
⑤取組の特徴	自治会の協力を得ながら、自治会役員以外のメンバーを加えた新木野高齢者見守りネットワーク運営委員会が主導となり、小規模多機能型居宅介護事業所の協力も得て実施。
⑥開始年度	平成22年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成22年4月 新木野地区での高齢者見守りネットワーク構築を決定。 平成22年12月 地区の防災訓練時に小規模多機能型居宅介護事業所職員からネットワークの趣旨説明と見守り協力員募集の呼びかけ。 平成23年1月 第1回新木野高齢者見守りネットワーク協力員懇談会を開催。見守りのポイントについてグループ討議。 平成23年7月 第1回新木野高齢者見守りネットワーク運営委員会を開催。 平成24年4月 両自治会総会にてネットワーク構築の議案が承認される。 平成24年6月 自治会を通じて要支援者登録票と見守り協力員登録票を全戸配布。回収。 平成24年9月 新木野地区高齢者見守りネットワーク活動発足の会開催。
⑧主な利用者と人数	見守り希望者83名、見守り協力員183名。
⑨取組の実施主体及び 関連する団体・組織	実施主体 新木野高齢者見守りネットワーク運営委員及び地域の見守り協力員 運営委員会は、当該地区に居住する住民、自治会役員、民生委員、小規模多機能型居宅介護事業所職員、市職員、高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）職員、地域の老人クラブ代表者等22名で構成。
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	運営委員会に出席し、具体的な見守り活動構築をともにしている。 また、見守り希望者、見守り協力員募集時の文書用ペーパー及び封筒の購入、印刷を市で実施。現物支援のみで財政支援はなし。
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	なし。
⑫取組の課題	他地域でのネットワーク構築を進めていくにあたっては、その地域にこうしたネットワークが必要であるという機運をいかに高めることができるかが課題ととらえている。行政主導的に自治会等への一方的な依頼では地域に根付いた活動につながっていかないと考える。
⑬今後の取組予定	新木野地区の取組を先進事例として、他地域にも波及させる。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	我孫子市健康福祉部高齢者支援課 04-7185-1111(内397)

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。